

函 経 商

令和 3 年 (2021 年) 9 月 1 0 日

市 議 会 議 員 各 位

経 済 部 長

参考資料の配付について

このことについて、別添のとおり下記に係る資料を配付いたします。

記

配付資料 函館駅前東地区市街地再開発事業における公共施設整備の方向性について（中間報告）

（経済部商業振興課）

函 経 商

令和 3 年 (2021 年) 9 月 1 0 日

経済建設常任委員会委員 各位

経 済 部 長

参考資料の配付について

このことについて、別添のとおり下記に係る資料を配付いたします。

記

配付資料 函館駅前東地区市街地再開発事業における公共施設整備の方向性について (中間報告)

(商業振興課)

函館駅前東地区市街地再開発事業における公共施設整備の方向性について（中間報告）

1 函館駅前東地区の特性と公共施設の必要性

・函館駅前東地区は公共交通の結節点に隣接し、市民はもとより多くの観光客やビジネス客などが訪れる函館の顔ともいえるエリアであり、中心市街地に位置する。

・2019年1月の(株)中合棒二森屋店の閉店後、JR函館駅前にふさわしい土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、市街地再開発事業として跡地を整備することとした。

・函館駅前東地区市街地再開発準備組合によるホテル棟、マンション棟、商業棟および全天候型交流広場で構成される複合施設を整備する計画において、市としても再開発事業が当該地区の賑わい創出に向けてより効果が高まるよう、公共施設の整備が必要と考え、そのあり方について検討を行うこととした。

・新たな公共施設の持つ機能や市の限られた財源を勘案し、周辺地域の公共施設の統廃合などについても検討を行うこととした。

2 公共施設の役割と考え方

函館駅前・大門地区の賑わい創出を図るため新たな公共施設については、函館駅前東地区の特性を踏まえるとともに再開発事業との相乗効果を期待し、「子どもから高齢者まで性別を問わず集い交流する施設」が望ましいと考え、以下に配慮する施設を目指す。

役割	考え方
(1) 市民の誰もが学べる場	充実した図書コーナーを設置するとともに各種講座の開催により市民へ学習機会を設けるなど誰もが学べる場を提供する。
(2) 子どもから高齢者まで性別を問わず気軽に利用できる多様な活動の場、交流の場	日常生活における悩みや心配に関する相談や生活情報などを発信するほか、健康づくり、生きがいつくり、娯楽など多様な活動の場、交流の場を提供する。
(3) 観光客やビジネス客が函館を知る場、滞在の場	函館に関する図書やビジネス書を充実させるほか、くつろぎの空間やワークスペースを設けるなど函館を知る場、滞在の場を提供する。

3 統廃合を検討する施設等

新たな公共施設の持つ役割を勘案し、周辺地域の役割が重複する以下の公共施設等の統廃合について検討する。

また、統合にあたっては、以下の公共施設等が行うソフト事業について精査のうえ実施するなど機能移転を図る。

- ・女性センター
- ・谷地頭老人福祉センター
- ・ふらっとD a i m o n
- ・東川児童館
- ・千歳図書室

4 施設整備フロア等

新たな公共施設については、その役割や統廃合を検討する施設等の規模を勘案し、商業棟の3階および4階の2フロアに設置するとともに、整備にあたっては、将来的な財政負担なども考慮し、国の補助事業（都市構造再編集中支援事業）を活用する。

5 今後のスケジュール（予定）

- ・2021年（令和3年）12月 公共施設整備の方向性公表
- ・2022年（令和4年）4月～公共施設整備計画・基本設計，実施設計
- ・2024年（令和6年）4月～工事着手
- ・2026年（令和8年）3月 開業